# 令和３年度 福井県立丹生高等学校 学校関係者評価書

（問）　①スクールプランの重点目標や具体的な取組み等が適切か。
②学校評価書の成果と課題が適切か。
③成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

評価者　令和３年度丹生高校スクールモニター　６名
朝日地区１名　　織田地区１名　　宮崎地区１名　　越前地区１名、
現ＰＴＡ会長１名　前ＰＴＡ会長１名

【中高一貫教育】

・特別講義や体験学習等を通し、地域と連携した探究活動など模索した成果として、地域と学校が一体となった魅力化が図られ大きな成果を上げている。
・町内４中学校の連携強化について、動画の作成や学校への訪問活動により中高一貫教育の充実が図られ評価できる。
・越前町内４中学校との連携を強め、中高一貫教育の更なる充実を図ることは適切である。
・４中学校へ相互訪問して連携出身の大学生を説明会で招くなど連携事業が評価される。
・地域の協力だけではなく、大学や外部機関との関係も深め、今一度中高一貫教育の内容を周知していくことが必要と思われる。
・中高一貫クラスと特別進学クラスの違いが中２の保護者に理解されていない。
・連携クラスの優位性を理解させる必要がある。

【教育課程・学習指導】

・ICTを活用した授業も定着し理解度も上がっている。機器活用による授業実践については指導者の力量により生徒への理解度が左右されるので、指導者の研修などにより効果が上がる支援等実践をお願いしたい。また、一人ひとりと対話し、取り残されることの無いよう、個々に応じた指導も重要である。
・受け身ではなく、学習の習慣と規律を主体的に学ぶ姿勢を育てることは適切である。
・現在の状況下では ICT を活用した授業が必須となっているが、家庭学習のあり方等を工夫することに対しては、ご苦労様ですが先生方のご指導を期待したい。
・ICT のさらなる活用と教師の指導のマッチングは適切である。
・ICT を活用した授業などで理解度が７０％台を保っているのは評価できる。

【生徒指導】

・基本的生活習慣の定着など望ましい生徒支援については、家庭との連携が重要である。
・携帯電話のマナーやタブレットの使用規定は適切な指導のもと管理されることは必要だと思うが、生徒自らの管理能力を高め規範意識の向上を更に図ることも必要である。
・規範意識・人権意識の向上を図ることは適切である。
・タブレット端末の利活用の仕方、長所、短所を生徒たちに指導をお願いしたい。
・部活動に関しては、生徒の自律的な運営が期待される。活動が不十分な部に対しては統廃合を含め考えていかなければならないと思う。
・携帯電話など情報モラルに関する注意喚起情報を定期的に発信し、日常的に注意を促す必要がある。
・部活に入っている生徒が全学年とも９５％以上加入しているのは素晴らしいと思う。

【進路指導】

・進路学習が整備されていると回答した保護者の割合が約 80%と満足度が高かったことは評価できる。
・コロナ禍の中、校外での情報収集は難しいと思うが、生徒自ら進んでの情報収集や大学、職場見学等に参加した 3 年生徒が約 86%と高かったことも評価できる。今後も更に、主体的に自らの進路を考え行動する意欲や態度を育てることが重要であると同時に、進路指導部を中心に関係者が一体となってかかわりを持つことが大事である。
・３年間の進路指導計画に基づき個々の進路実現を支援していただくことは適切である。
・進路学習が整備されていると回答した保護者が 79.7%に対し、進路情報を収集した生徒の割合が 64.6%このギャップを埋める対策が必要ではないか。
・保護者、生徒、学校側の連絡を密にし生徒が最善の進路を決定できるようお願いしたい。
・コロナ禍のため進路講演会を開くのは困難なため、オンラインで講演会を開き、進路意識を高めてほしい。

【保健管理・教育相談】

・コロナウイルスがまん延する中、本校においては、徹底した感染対策を実施し感染者を出さなかったことは評価できる。施設の老朽化や耐震対策等による修繕は年度計画を立て、随時予算要求をしながら安全安心な教育環境を整備することが急務である。
・心身の健康を自分で管理できるように指導することは適切である。
・長期の新型コロナウイルスで生徒のみならず、国民すべてに緩みが出るのは仕方のないことである。ただ、その中でも緊張感をもって意識を向上させていくことが必要だと思われる。
・引き続き感染対策への指導を継続するとともに感染状況に応じた指導法を継続することは適切である。

【読書指導・情報管理】

・ＰＴＡ活動は、コロナ禍の中、人を集める活動が制限されたことは理解できる。
・図書貸出数は生徒数の減少や電子書籍の普及の中でも前年並みの貸出数は評価できる。
・読書習慣を育成するとともに安心・安全な ICT 環境を整えることは適切である。
・アナログからデジタルへと時代は変わりつつあるが、アナログの重要性も伝える必要があると思う。
・アナログを活用（例えば新聞）した NIE 教育等も必要だと思う。
・コロナ禍のため保護者に学校の情報が伝わりにくいため、広報誌などを作り、積極的にＰＴＡに参加させてほしい。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）

・今年度はコロナ渦で、各行事･活動を中止や縮小をせざるを得なかった中、学校関係者評価委員の方からは温かいお言葉をいただいた。今後、自己評価と学校関係者評価委員の方からのご意見やご指摘をもとに、次年度の目標・具体的取組を精査し教職員一丸となって目標達成をめざし、本校の教育活動の充実に取り組みたい。